

**板倉重宗** 第2代京都所司代。父同様公正で、在職35年、幕府権力を京都に浸透させた。

いたくらしげむね

秀吉太政大臣1586 = 遠江国駿府で、板倉勝重の長子に生まれる。母は粟生永勝の女。

**秀吉全国統一**1590 = 4歳 :

関白秀次事件1595 = **9歳** :

二代將軍徳川秀忠に仕えて信任を得、永井尚政・井上正就とともに近侍の三臣といわれ、

**関ヶ原の戦**・1600 = 14歳 : 関ヶ原の戦に出陣し、

朱印船制始・1601 = 15歳 : この年、父勝重が、家康の制覇に伴って新たに置かれた京都所司代に就任、

糸割符法始・1604 = **18歳** :

徳川家康隠居1605 = 19歳 : 秀忠の上洛に供奉し、將軍宣下の際、従五位下周防守に叙任。

**家康駿府退隠**1607 = 21歳 :

支倉常長渡欧1613 = **27歳** :

大坂冬の陣・1614 = 28歳 : 大坂冬の陣では徳川家康に従軍し、毎日その動静を秀忠に知らせる役を勤める。

**大坂夏の陣**・1615 = 29歳 : 大坂夏の陣がおきると、再度従軍して近侍に列し、御書院番頭を兼ね、知行六千石を恩給される。

**徳川家康没**・1616 = 30歳 :

秀忠娘入内・1620 = 34歳 : \*父勝重のあとをついで、京都所司代に補せられ、二万七千石余を領する。

元和大殉教・1622 = **36歳** :

**徳川家光將軍**1623 = 37歳 :

忤断交・1624 = 38歳 : 父の遺領の分配で、計三万八千石になる。

人身売買禁止1626 = 40歳 : \*二代將軍徳川家光の上洛に従い、後水尾天皇二条城行幸後、家光より銘刀を賜わる。

糸割符拡大・1631 = **45歳** :

**徳川秀忠没**・1632 = 46歳 :

鎖国令 ・ ・ ・ 1633 = 47歳 : 一万二千石を加賜され、摂津・山城・近江・常陸・武蔵の諸国において合計五万石を領する。

島原の乱始・1637 = 51歳 : 島原の乱に際し、びたび到来した九州諸大名の飛報を幕府に届けず、大坂城代阿部正次とはかつて返書を送り、一揆鎮定を告諭する。

寛永飢饉始・1640 = **54歳** :

**家光鎖国完成**1641 = 55歳 :

慶安御触書・1649 = **63歳** :

**徳川家光没**・1651 = 65歳 :

所司代の職にあること三十五年、公正に裁決することを念じ続け、父勝重とともに能吏の名をうたわれ、

新利根川完成1654 = 68歳 : \*老齢をもって辞職したが、なおしばらく後任の所司代を補佐するように命ぜられ、

・ ・ ・ ・ ・ 1655 = 69歳 : 1年京都に滞留。その後も、江戸城では、特に許されて保科正之・井伊直孝の傍に着席。

・ ・ ・ ・ ・ 1656 = 70歳 : 摂津の領地を割き、山城・近江の所領をかえて下総四部に移され、下総関宿城を賜わり、当地で没した。